



ペケレベツ

理念

私たちは、赤十字の理想とする人道・博愛の精神にもとづいて、よりよい医療を提供し、皆様に信頼される病院をめざしています。

基本方針

1. 地域医療の推進と救急医療の充実に努めます。
2. 患者様の権利を守り、その意思を尊重した医療を行います。
3. 地域の皆様の健康増進と疾病予防に努めます。
4. 清潔、快適で、やすらぎのある環境づくりに努めます。
5. 常に研鑽を重ね、資質・技術の向上に努めます。

【目次】

■清水赤十字病院院内報発行にあたり	1
・“Think globally and act locally”	院長 藤城貴教
・未来に向かって一丸となって	事務部長 瓦木研一
・地域に愛される病院として	看護部長 佐藤美恵子
■これまでの主な話題	3
・4月 よろしくおられます!! ～新入職員歓迎会～	
・5月 もっと赤十字を知ってほしい ～2015赤十字フェスティバル開催～	
・6月 清水町赤十字奉仕団による花壇整備・団員研修会を実施しました	
・7月 永年勤続功労者表彰式を執り行いました	
・8月 全道の赤十字施設が子どもたちの夢を応援 ～赤十字キッズランド～	
・9月 日本赤十字社 近衛忠輝社長 が当院を訪問	
・10月 親睦会旅行会を開催 ～日帰りバスツアー～	
・10月 第51回日本赤十字社医学会総会に参加しました	
・10月 十勝医師会「救急医療啓発普及事業」町民健康講座を開催しました	
■各課紹介	6
・リハビリテーション技術課	
■人事消息 (4月～10月)	7
・＜採用＞ 新入職員紹介	
・＜退職＞ お疲れ様でした	
・＜結婚＞ おめでとうございます	
■医師派遣等	8
■コーナー	
・あなたの肝臓大丈夫?／栄養課	

ペケレベツとは

※「ペケレベツ」とは、アイヌ語で「明るく清らかな川」を意味しており、このアイヌ語が清水町と名付けられた由来となっています。

清水赤十字病院院内報発行にあたり

“Think globally and act locally”

院長 藤城 貴教



当院は終戦間もない1945年(昭和20年)9月に地域住民のご協力の下に開設されて今年で70年を迎えます。開院以来、日本赤十字社の理念である「人道・博愛」の精神に基づいて地域に根ざした医療を提供し、信頼される病院作りに努めてまいりました。

近年、日本は急速な高齢化や人口減少にともなう過疎化が進み、地域における医療の必要度がますます高まっております。我々に求められるのは、医療の質の向上はもとより在宅医療の推進をはじめとした、一歩進んだ地域貢献です。更には地元の方々との一体感を深めるため、様々な連携を進めていかなければなりません。

また、日本赤十字社は救護団体として発足した社であり、国内外で頻発する自然災害における救護活動は、我々にとってもう一つの大きな使命であります。組織の一員として救護活動に積極的に参加し、その一翼を担っていきたいと思っております。

今後も、地域の皆様が安心して受診できる病院作りを目指し、赤十字病院としての特色を生かしながら地域社会に貢献していきましょう。

“Think globally and act locally” (地球規模で考え地域で行動せよ)



未来に向かい一丸となって



事務部長 瓦木 研一

院内報初版発行にあたり、三役の自己紹介から始まり今後の方針、取り組みを示せとのことですので自己紹介からはじめると、生まれは昭和31年2月の申年生まれで、年が明けてひと月もすると60になります。

来年は申年で所説によると、還暦とは通常の十二支の一巡とは一味違う特別な年と位置づけています。生まれた時と同じ暦の干支に戻るとされ、所謂人生二順目に入ると云う事ようです。また、ある作家の受け売りでかなり無理があると思いますが、四季は春夏秋冬、方位は東西南北、陰陽五行説ではないのですが物事はすべて四分法で現されており、10年一昔とした時、今年度で私が当院に来て2年半が過ぎ去ると考えると自分がこの職場での節目の年とも思えてきます。さて、来年度は経営健全化計画の最終章であると同時に町からの運営費補助金最後の年でもあり、また医療費抑制といったマイナス改定で各医療機関が一様に頭をかかえる診療報酬改定の年でもあります。障がい者病棟をかかえる当院にとって此の所あまりいい話は聞こえてきませんが、いずれにせよこのままではこれ以上の上積みは見込られません。将来的には病床規模・機能も含め病床再編といったことも考えられますが、当面は、今の枠組みを大きく変えず国の施策をにらみ診療報酬改定の動向を見ながら地域包括医療、在宅支援を骨子として進めて行こうと考えています。その取り組みの一環として、すでに行っている訪問リハビリテーション、地域連携室の設置、そして現在準備中の通所リハビリテーション等がその一旦であり療養病棟の診療報酬手当もにらみながら、いろいろ課題はありますが地域包括ケア入院医療管理料も検討していきます。

これに限らず当院の経営戦略室では、増収・費用の削減に向けた検討会も進めて行きますので皆さんの理解と御協力をお願いします。

地域に愛される病院として



看護部長 佐藤美恵子

院内報発行にあたり、ご尽力いただいた広報委員会をはじめ、関係各位の方々に感謝申し上げます。当院は、赤十字病院の中で、100床未満の小規模病院ですが、開院当初から地域医療の一端を担い地域の皆様と歩んで参りました。赤十字の理念の基に70年の歴史を刻んできた中で、私が看護師として採用された当初は、家族の方々が鍋釜を持参し、患者様と共に病室で寝泊まりしていた事が懐かしく思い出されます。平成に入り、看護師が充足されたのを機会に、基準看護を取得し、現在に至っています。

地域の皆様に信頼され愛される病院として、看護部に何ができるか自問自答する毎日です。社会情勢の大きな変化に伴い専門職である私たち看護師の役割は大きくなっています。

当院でも訪問診療・訪問看護・訪問リハビリなど病院から地域へ専門職が出向き活躍の場を広めています。少子高齢化社会を迎え看護部として看護の質を向上させると共に地域のニーズを的確につかみ更なる活動の場を模索しています。

患者様の一番身近に24時間存在する看護の力がその病院の評価につながっていると思っています。急性期だからしなければならない、急性期だからできる看護があります。又、障害者病棟においては、長期療養における安全安心の看護を提供し患者様ご家族が安心して療養できる環境を提供しています。

患者様一人ひとりを大切に、その人らしく生きていける支援を常に考え実践しています。明るく元気で優しい看護師が、質の高い看護を提供する為に頑張っている事が当院の看護部です。

これまでの主な話題 (2015年10月現在)

4月

よろしくお願いします!! ～新入職員歓迎会～

今年度入社してから一週間が経過した4月7日(火)、清水町ハーモニープラザにおいて新規採用職員等の歓迎会が開催されました。はじめに藤城院長から「一日も早く仕事に慣れて当院の健全経営に向けて尽力願いたい。」との挨拶があったあと瓦木事務部長の乾杯で歓迎会がスタートしました。皆ほど良くお酒もまわりリラックスしてきたところで、8名の新規採用職員から自己紹介と抱負などが述べられました。在職者からは質問なども飛び交い、困惑の笑みで回答する新入職員の初々しさが印象的でした。また、昨年に続き二度目の派遣となった名古屋第二赤十字病院の岡田医師からもご挨拶を頂き、一体感のある歓迎会となりました。



5月

もっと赤十字を知ってほしい ～2015赤十字フェスティバル開催～

日本赤十字社では、赤十字の創設者であるアンリー・デュナンの誕生月である5月を「赤十字運動月間」としており、当院においても地域の方々に赤十字の活動を知って頂くため、5月29日(金)に「2015赤十字フェスティバル」を開催しました。院内では赤十字活動紹介パネル展示や災害救護資機材の展示を通して活動を紹介したほか、災害時高齢者生活支援講習、地元地域奉仕団による炊出し訓練や地元のパークゴルフ協会と協力して清水赤十字病院杯チャリティパークゴルフ大会を実施して一般町民に広く赤十字啓蒙の普及を行いました。また、6月3日(水)には安全法講習普及事業の一環として、臨床工学技術課村谷係長によるAEDについての講演をハーモニープラザで行い、約40名の町民の方々が聴講しました。



6月

清水町赤十字奉仕団による 花壇整備・団員研修会を 実施しました

6月8日(月)、例年実施している清水町赤十字奉仕団による駐車場前の花壇整備が行われ、今年も花壇がたくさんの花々で彩られました。

また、午後からは場所を保健福祉センターに移し非常食の試食会を行ったあと、田中総務課長による赤十字マークの講義とAEDの使い方の実習を全員で行いました。



10月

第51回日本赤十字社医学会総会に参加しました

第51回日本赤十字社医学会総会が北見赤十字病院の担当により、平成27年10月15日から16日の日程で開催され、当院からも演者並びに運営スタッフとして7名の職員が参加させていただきました。本大会は第100回に向けての新たなスタートとして、「つなげよう赤十字の温故知新～オホーツクからの新たな一歩～」をメインテーマに、北見赤十字病院職員の皆様が総力を挙げ盛大に開催されました。

医療人の集いでは北見市ならではの「焼肉」が振舞われたと同時に、右を見ても左を見ても前後を見ても「蟹・蟹・蟹」の蟹三昧で寒さも忘れ楽しい時間を提供いただきました。

参加した職員からは次大会以降も参加したいとの声が多数あり、また、参加できなかった職員からも「焼肉」と「蟹」が食せるのであれば参加したいといった甘～い声も伺えますが、次大会に向けて素晴らしい演題が登録されることを期待しています。

北見赤十字病院職員の皆様、盛大な学会を開催いただき誠に有難うございました！

発表演題

- 薬剤副部長 上神田憲男「薬剤部における抗悪性腫瘍剤の調整」
- 看護係長 高橋美穂子「延髄梗塞による嚥下障害患者の退院へのアプローチ」
- 看護係長 寺原 勝好「PEG内視鏡の有用性と経済効果」
- 管理栄養士 星野 早苗「高齢血液透析患者の食事制限を解除した症例」
- 臨床機器管理係長 中田 裕二「透析患者に対してPWIはDW指標に有用か？」



10月

十勝医師会「救急医療啓発普及事業」 町民健康講座を開催しました

10月25日（金）、芽室町駅前プラザにおいて、十勝医師会による救急医療啓発普及事業の一環として町民健康講座が開催され、当院の河野薬剤部長、村谷臨床工学係長がそれぞれ「くすりの話し」、「突然死、みんなで減らそう、AED」のテーマで講演を行いました。当日は一般町民を含め参加者が約10名と若干さびしいものでしたが、一般町民にもわかりやすい内容で、参加者は皆傾きながら両講師のお話に耳を傾けていました。今後も当院では町内で町民公開講座を実施していく予定です。



各 課 紹 介

■リハビリテーション技術課

私たちリハビリテーション技術課は、現在理学療法士4名、柔道整復師1名で業務を行っています。

医療保険業務は運動器Ⅰ、脳血管Ⅲ、呼吸器Ⅰの施設基準があり、外来・入院のリハビリテーションを行っています。

また、昨年11月より介護保険業務の訪問リハビリテーションを実施しています。利用者数も徐々に増えています。

来年は介護保険業務の通所リハビリテーションを開設する予定です。

スタッフ全員で協力し、患者様・利用者様に安心してサービスを提供できるよう頑張っていきたいと考えております。



《採用》新入職員紹介 (平成27年4月1日～10月31日)

【4月1日付採用】



外科部長 白山 真司
①岩見沢市
②犬ぞり・モータースポーツ
③自分でもよくわからない
④外科系総合医として引き続き地域医療に従事していきたい



医事課・主事 末永 悟志
①帯広市
②スポーツ観戦 (特に野球)
③マイペース
④病院の力になれるよう精一杯頑張ります



リハビリテーション技師・理学療法士 堀下 香織
①札幌市
②ドライブ・お菓子作り・水泳・ワープロなどの早打ち
③負けず嫌い・優柔不断
④患者様に少しでもよりよい生活を送って頂けるように支援していきたい



2階病棟・看護師 後藤 靖興
①旭川市
②スポーツ
③ポジティブ
④一日でも早く仕事を覚えて清水日赤に貢献できる看護師になる



2階病棟・看護師 佐々木 柚理子
①江別市
②映画・スノーボード
③単純
④一人前の看護師になれるよう笑顔で一生懸命頑張ります



3階病棟・看護師 三谷 萌子
①北見市
②音楽鑑賞・合唱
③真面目・マイペース
④清水日赤の一員として立派に働けるように頑張ります



3階病棟・看護師 八木 大地
①帯広市
②楽器演奏 (ギター等)・サッカー観戦・競馬
③明るい
④明るく優しく広い心を持ったナースになります



医事課・嘱託職員 鎌田 汀
①清水町
②掃除・柔道
③元気のいいところ
④一日でも早く仕事を覚えるように頑張ります

【5月18日付採用】



透析室・看護師 西岡 さおり
①士別市
②ゴロゴロとテレビを見る・一日中テレビゲームができる
③A型なので几帳面と思いきや案外適当
④透析室にこもっているの、皆さんに顔を覚えてもらえるよう存在感を出して働きたい

【7月13日採用】



医事課・嘱託職員 小谷 莉奈
①音更町
②野球観戦・ソフトボール
③とにかく明るい小谷です！
④患者様から親しまれる医療事務職員になること

【8月1日付転入】



第一内科副部長 須藤 隆次
①帯広市
②ボウリング
③温厚・無頓着・優柔不断
④周囲に目を向け見識を広めることで地域医療の活性化に尽くす

【8月1日付採用】



医療社会事業課・社会福祉士 石井 康浩
①帯広市
②野球観戦・ゴルフ・旅行・ROCKフェス参加
③のんびり・あるがままに
④経済問題、社会制度など困ったときはご相談下さい。

【10月8日付採用】



2階病棟・看護師 榎 恵理那
①清水町
②音楽鑑賞
③ビビリ (臆病)
④病院のシステムや看護業務等を再確認し、即戦力としてお役に立てるよう努力していきますのでよろしくお願いいたします。

《退職》 お疲れ様でした

【5月31日付退職】 医事課・主事 林 美華奈

【6月30日付退職】 3階病棟・看護師 小林 恵

《結婚》 おめでとうございます

【10月10日】 栄養課・管理栄養士 千葉早苗 (旧姓/星野)

【10月21日】 リハビリテーション技師・理学療法士 有働沙希 (旧姓/鈴木)

医師派遣等

■日本赤十字社医師派遣受入

【名古屋第二赤十字病院】

4月1日～5月31日	【総合内科】	岡田祐美子	医師
6月1日～6月30日	【泌尿器科】	大橋 朋悦	医師
7月1日～7月31日	【内分泌科】	蓬臺 優一	医師
8月1日～9月30日	【総合内科】	渡邊 剛史	医師
10月1日～10月31日	【総合内科】	久田 敦史	医師
11月1日～12月31日	【総合内科】	山室 亮介	医師

■臨床研修医受入

【名古屋第二赤十字病院】

6月1日～6月26日	地域医療(2年次)	宇野 好	医師
7月6日～7月31日	地域医療(2年次)	尾崎 悠	医師
8月17日～9月11日	地域医療(2年次)	佐藤恵雄	医師
9月14日～10月9日	地域医療(2年次)	松野宏樹	医師
10月19日～11月13日	地域医療(2年次)	佐藤洋一	医師

【仙台赤十字病院】

5月7日～5月29日	地域医療(2年次)	内藤 覚	医師
------------	-----------	------	----

【日鋼記念病院】

7月1日～7月31日	地域医療(2年次)	宮崎将也	医師
8月1日～8月31日	地域医療(2年次)	笠原里紗	医師

■医学生実習受入

【旭川医科大学】

5月25日～6月5日	地域医療(6学年)	阿部 翼・高木 徹
6月8日～6月19日	地域医療(6学年)	坂本純永・佐々木彩華
6月22日～7月3日	地域医療(6学年)	増田 拳・永森聖人

編集後記

2015年も終わろうとしている12月、ようやく創刊号の発行となりました。今後は定期的に発行していく予定ですので、職員の皆様からの話題やPRなどございましたら、お気軽に広報委員までお知らせください。(H・T)

＜広報委員＞

田中宏幸(総務課・委員長)／伊藤 訓(医事課)
久保千里(栄養課)／安保史織(検査技術課)
首藤竹司(放射線技術課)／齊藤麻美(看護部)
石川奈々恵(看護部)／定岡潤子(看護部)
大川浩二(総務課・事務局)

あなたの肝臓大丈夫？

忘新年会の季節がやってきました！

健康診断も終わり、肝機能の数値がよくなかった方もいるのではないのでしょうか。

普段から1日3食規則正しく食べ、お酒の許容量を守り、飲まない日を週に2日以上設けることが肝機能の低下を防ぎます。

今回は、宴会を楽しむための注意点をお話します。

★お酒は、乾杯程度でやめることが大切。1日許容量は、純アルコール量で22g程度です。

	1日許容量
日本酒	1合
ビール	大瓶1本
焼酎	0.6合
ワイン	グラス2杯



★食事をおつまみにします。食塩のとりすぎにならないよう、塩辛いものは控えます。また、脂っこいもののとりすぎにも注意。

★お酒を飲むときには、たんぱく質が多く、野菜が少なくなりがちなので、野菜や海藻をとるようにしましょう。

肝細胞再生のためには、たんぱく質が必要です。必須アミノ酸が豊富な肉、魚、大豆製品、卵、乳製品をバランスよく適量とりましょう。また、肝臓では、たんぱく質、脂質、糖質の3大栄養素の代謝が活発に行われるため、代謝に必要な野菜や海藻に含まれるビタミンが欠かせません。

参考資料 栄養の基本が分かる図解辞典

監修 中村丁次

患者さんとスタッフのための糖尿病

食事のすべて 監修 阿部隆三

発行元

発行: 清水赤十字病院

〒089-0195

北海道上川郡清水町南2条2丁目

TEL0156-62-2513 FAX0156-62-4460

URL <http://www.shimizu.jrc.or.jp/>

E-mail: rcssoumu@shimizu.jrc.or.jp

編集: 清水赤十字病院広報委員会

責任者: 事務部長 瓦木研一

印刷: 勇昇印刷(有)